

「石川県産業振興指針」素案に対する意見募集の結果について

- 1 募集期間 令和5年6月8日（木）～令和5年7月5日（水）
- 2 寄せられたご意見 9件
- 3 意見の概要

No	ご意見の概要	左記に対する考え方
1	<p>基本的な考え方として、（１）指針の担い手は主にZ世代である。（２）Z世代は消費者であるが、それ自体は産業や税収には直結していない。（３）Z世代にメリットをもたらす成長があるとよい。</p> <p>具体的には、Z世代の want、can、must を整理・活用し、Z世代のための独自のポイント還元システムによって労働意欲を高めるなど。</p> <p>Z世代を含め日本全体の需要を活かした戦略を県内で取り組むことにより人口流入を意識することが必要ではないか。</p>	<p>SNSによる情報発信や、電子クーポンの発行といった、デジタル技術を活用したサービスの提供を通じて、Z世代を含む若い世代をはじめ、県民誰もがそれぞれの希望に応じて活躍することができる社会の実現を目指し、取り組んでいきます。</p>
2	<p>7つの領域（デジタル、グリーン、人材、研究開発・スタートアップ、販路、事業基盤、誘致）のイノベーションが重要であり、その前提として、システムの開発を網羅的に進めるべきではないか。</p>	<p>イノベーションを実現するためには、様々な分野や領域でシステム開発やデータ活用を行うことが重要であり、県としても、事業者のニーズに応じた人材・資金・技術を総合的に支援していくこととしています。</p>
3	<p>全国の物流を担う物流業界において、サプライチェーンの構築やシステム開発、カーボンニュートラルの取組を進めることは、業界の発展だけでなく、一石二鳥にも、一石三鳥にもなる取組であると考えます。</p>	<p>デジタル技術の活用や環境に適合した事業活動への変革を行う事業者の取組を後押しするとともに、トラック輸送の負担軽減に向け、県内の荷主企業の輸送を、他港から金沢港に転換するよう促すなど様々な取組を通じて物流の維持・確保に努めます。</p>

4	<p>縦に長い半島は、内陸に住む外国人にとって魅力的であり、観光地としての国際的な知名度を高め人の流入を増やすことが重要。年収1千万円の日本人でも、海外から見れば低所得者層なので、インバウンド（外国人旅行者）を狙うべきではないか。</p>	<p>顧客単価の高いインバウンドの誘客を強化することとしており、効果的な情報発信や、外国人のニーズを踏まえた観光コンテンツの充実などに取り組んでいきます。</p>
5	<p>技術のプロと経営のプロとを分けて考え、技術者を経営責任から解放するとともに、技術（最先端技術）のありかを県が把握することで、産学官民の連携を進め、産学のマッチングが容易になるのではないか。</p>	<p>新事業創出に向け、新たに、民間企業を含めた産学官金の支援体制「いしかわ新事業創出支援コンソーシアム」を構築したところであり、「成長戦略ファンド」による助成や、産学のマッチングなどを通じ、事業者の取組を支援していきます。</p>
6	<p>今いる人材と将来の人材を同時に育成するべきではないか。</p>	<p>新たに必要となるスキルや知識を修得するためのリスキリングを支援するとともに、将来の担い手育成についても着実に取り組んでいきます。</p>
7	<p>産業振興指針を作成するだけでなく、指針の内容を広報していくことが必要ではないか。</p>	<p>パンフレットや動画等を用いて、ホームページやSNS、県政出前講座などあらゆる機会を通じ、広く周知していきます。</p>
8	<p>成長モデルに、「教育」という産業を加え、指標を作るべきではないか。</p>	<p>スキルや知識のリスキリングは、様々な分野で求められるものと考えており、産業界のニーズを捉えながらしっかりと取り組んでいきます。</p>

9	<p>指針は、データを採取しウィークポイントを抽出し、よくまとめられている。</p> <p>一方、生成 AI が回答したものと似て、総花的すぎる。</p> <p>県としての施策としてはそのとおりだが、中心には生成 AI プラットフォームを置き、コンテンツを開発し、使いこなせる頭脳の育成が県を発展させるだろう。これを使いこなせば、重点項目は案外簡単に肉付けできると思う。</p>	<p>生成 AI を使用した情報発信や、それを使いこなすことができる人材の育成など、最先端のデジタル技術を積極的に活用していきます。</p>
---	---	--